

A 最後の一字

標準の土台 | 目安 25分 | 全8問

会話・道具・繰り返される動作を結び付ける

本文は本教材用に作成したオリジナル文章です。

① 店の奥から背景用の白い布を引き出すと、畳まれていたところだけが黄色く見えた。祖父の写真店は、今月末で店を閉める。中三の私は日曜日ごとに片付けを手伝っていたが、祖父が物を捨てるたび、忘れ物をわざと置いていく人を見ている気がした。壁の見本写真も取り外され、四角い跡だけが並んでいた。来月から看板が別の名前に変わることは聞いていた。その名前をまだ口にしなかった。

② 「その布、もう使わないな」祖父は、私の足元にごみ袋を置いた。私は布を膝に抱えたまま、壁際の椅子を指した。「あれも？」祖父はうなずいた。家族写真でいつも弟が座らされた椅子だ。私は「何でも捨てるんだね」と言った。祖父は返事をせず、椅子の脚に巻かれた針金を外し始めた。店を続けたいと頼むつもりはなかった。それでも、私だけが片付けを遅らせているようで腹が立った。

③ 昼前、商店街のパン屋さんが来た。「最後に一枚、店の前でお願いします」祖父が引き受けると、パン屋さんは私にも手を振った。「この前の家族写真、妹が喜んでね」祖父は棚から大きなカメラではなく、小さなカメラを出した。私は、その軽さまで気に入らなかった。毎年見ていた黒い布も三脚も使わないなら、祖父でなくてもいいように思えた。

④ 表に出ると、パン屋さんは看板の真下に立った。祖父は一度カメラを上げ、すぐに下ろした。「少し右。いや、足はそのままで」そして私に、店の中の白い布を持ってくるよう頼んだ。言われたとおりに布を広げると、パン屋さんの顔の片側が明るくなった。雲の切れ目を待っていた祖父が、「今、いつもの顔だ」と言った。パン屋さんは、口元に残っていたよそゆきの笑いをほどいた。

A 最後の一文字

標準の土台 | 目安 25分 | 全8問 | 本文つづき

段落番号は前のページから続きます。

⑤ 私は腕を上げ直した。布が風を受けて、何度も手の中でふくらんだ。祖父はシャッターを押す前に、パン屋さんに妹さんの話を尋ねていた。昔、家族写真を撮るとき、弟が泣き出すと祖父はカメラから離れてしゃがんだ。私はそれを、撮影が進まない余計な時間だと思っていた。今は布の端を握りながら、祖父がいつカメラを上げるのか、少し分かる気がした。

⑥ 片付けに戻ると、外した針金が机に置かれていた。「この脚、また緩んだ。誰かが座る前に外しとうと思って」祖父は椅子の座面を軽く押した。私はさっきの言葉を思い出したが、謝る代わりに白い布の汚れた端を折り込んだ。「これは、私が持って帰っていい？」祖父は、洗っても白くならないぞ、と言った。私は、白くしたいわけじゃない、と答えた。

⑦ 帰り際、看板の下で祖父を撮ることにした。画面に店の名前を全部入れようと後ろへ下がると、祖父の顔が暗くなった。私は一度カメラを下ろした。「もう一歩、こっちに」名前の最後の一文字が画面から出た。シャッターを押すのは、そのあとだった。帰りのかばんには布だけが入っていた。椅子を残してきたことは、まだ少し気になった。

選択問題は記号に○。記述は句読点・かぎカッコも1字です。

問1 ①段落の「忘れ物をわざと置いていく人を見ている気がした」に表れている「私」の気持ちはどれですか。最も適切なものを一つ選び、記号に○を付けなさい。

ア 片付けを自分だけに任せて、祖父が出かけそうなので不安だ。

イ 祖父が店の思い出まで手放していくように感じて、納得できない。

ウ 自分が物を忘れないように、祖父の片付け方を覚えておきたい。

エ 新しい店の名前を聞かされていないので、祖父への不満が強い。

A 最後の一文

標準の土台 | 目安 25分 | 全8問 | 問題

本文は問題1～2ページ。選択問題は記号に○。句読点・かぎカッコも1字です。

問2 ②段落で「私」が腹を立てている理由として読めるものはどれですか。最も適切なものを一つ選び、記号に○を付けなさい。

ア 店を続けてほしいと頼むつもりはないが、思い出にこだわる自分だけが取り残されるように感じた。

イ 祖父が閉店をやめようとしているのに、自分が片付けを急がせてしまったと感じた。

ウ 祖父に大切な椅子の修理を任せられ、自分の手では直せないことが悔しくなった。

エ 弟の写真ばかり残され、自分の写真は先に処分されてしまったことが寂しくなった。

問3 ③段落から⑤段落にかけて、「私」が祖父の撮影について見直した内容はどれですか。最も適切なものを一つ選び、記号に○を付けなさい。

ア 重いカメラを使わなくても、看板の文字を全部写せるということ。

イ 相手が笑うまで撮らなければ、撮影時間を必ず短くできるということ。

ウ 器具をそろえることよりも、相手の話を聞いて自然な表情を待つことを大切にしていること。

エ 自然な表情よりも、昔と同じ道具を使って思い出を正確に再現しようとしていること。

問4 ⑤段落で、以前の「私」が撮影中に祖父の取る時間をどう捉えていたかを表す言葉を、本文の⑤段落から、12字で抜き出さなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

12

問5 最後の「椅子を残してきたことは、まだ少し気になった」という一文の働きはどれですか。最も適切なものを一つ選び、記号に○を付けなさい。

ア 祖父の撮り方を理解しても、店の物への愛着がすべて消えたわけではないと示す。

イ 椅子の針金を直せなかったので、祖父の技術を最後まで認めなかったと示す。

ウ 椅子を忘れたことに気づき、店へ引き返して持ち帰ると決めたことを示す。

エ 写真店が再開すると確信し、椅子が再び使われるのを期待したことを示す。

A 最後の一文字

標準の土台 | 目安 25分 | 全8問 | 問題

本文は問題1～2ページ。選択問題は記号に○。句読点・かぎカッコも1字です。

問6 ⑥段落で「私」が白い布を持ち帰りたいと言ったのはなぜですか。④・⑤段落の出来事と結び付け、50字以上80字以内で説明しなさい。

[illegible]

問7 ③段落と⑦段落での「私」の撮影に対する考えの変化を、道具や店の名前へのこだわりにも触れて、60字以上90字以内で説明しなさい。

[illegible]

問8 ⑦段落の「一度カメラを下ろした」は④段落の祖父の動作と響き合っています。この繰り返しが伝える「私」の変化を、50字以上80字以内で説明しなさい。

[illegible]

B 二本の数字

標準 | 目安 25分 | 全8問

複雑な心情を、一つの感情に決め付けず読む

本文は本教材用に作成したオリジナル文章です。

① 十月の市民プールは、窓際の水だけが青かった。真帆は受付で借りたストップウォッチを、ベンチの上に置いた。今日は、去年まで同じ水泳教室に通っていた沙季と泳ぐ約束だった。沙季は春に別の教室へ移り、先月の大会では決勝に残った。真帆は夏に足首を傷め、二か月ほど泳げなかった。今は医師から運動を再開してよいと言われている。ただ、水の中で自分の速さを確かめることだけを、先へ延ばしていた。

② 「計る？」 着替えてきた沙季が聞いた。真帆は時計を裏返した。「今日は遊びに来たんだから」 沙季は分かったと言い、一人で水に入った。その背中が遠ざかるのを見ながら、真帆はベンチに座ったままでいた。時計を借りたのは自分だった。受付の人に借りる理由を聞かれて、「友達の記録を計ります」と答えた声が、まだ耳に残っていた。

③ 浅い側からゆっくり泳ぐと、水は思ったより重かった。隣のコースの沙季が一度追いつき、折り返してまた近づいた。真帆は顔を横へ向ける瞬間、沙季の腕ではなく窓を見た。追い付こうとすれば、息の吸い方までぎこちなくなる。二十五メートル先の壁に触れると、沙季が待っていた。「前より静かに入るね、手」 真帆は水を払うふりをして、返事をしなかった。

④ 休憩の笛が鳴り、二人はベンチへ戻った。沙季は足の間で指を組み、「教室、まだ時々間違えそうになる」と言った。真帆が黙っていると、沙季は続けた。「今度の所、泳いだ後、みんなすぐ帰るんだ」 真帆は時計を見た。移ったのだから全部うまくいっている、と勝手に決めていた。けれど、「寂しいの」と聞くのも違う気がした。沙季が言わなかった言葉を、自分が先に決めたくなかった。

B 二本の数字

標準 | 目安 25分 | 全8問 | 本文つづき

段落番号は前のページから続きます。

⑤ 「私、遅くなってると思う」水面から目を離さずに真帆が言った。沙季はうんとも、そんなことないとも言わなかった。休憩の終わりを告げる笛が鳴っても、二人はしばらく座っていた。「一本だけ、計ってくれる？」真帆が時計を押し出すと、沙季は受け取って表示を確かめた。「二十五でいい？」真帆はうなずいた。以前なら、二人は何も言わず五十メートルを選んでいた。

⑥ 壁をけるとき、真帆は隣を見なかった。水の中で腕を伸ばし、自分の息が泡になって頬を通るのを感じた。最後の数メートルで急ぎたくなかったが、沙季に言われた手の入り方を思い出した。壁に触れると、沙季が数字を読んだ。覚えていた記録より二秒以上遅かった。真帆は一度唇を結び、「もう一回、同じ長さ」と言った。沙季は時計の数字を消した。

⑦ 二本目も、以前の記録には届かなかった。帰りの更衣室で、沙季が次の日曜日の予定を尋ねた。真帆は、まだ分からない、と答えた。すぐにうなずけば、また勝手に約束を重くしてしまいそうだった。「分かったら送る。今度は私も計るから」外へ出ると、窓に反射していた夕方の光が薄くなっていた。真帆はかばんから携帯を出し、今日の二本の数字を、速いほうだけにせず並べて残した。

選択問題は記号に○。記述は句読点・かぎカッコも1字です。

問1 ①・②段落から分かる、泳ぐ前の真帆の状態はどれですか。最も適切なものを一つ選び、記号に○を付けなさい。

ア 泳ぐ許可が出ていないので、沙季の泳ぎを見学するしかない。

イ 記録を知りたい気持ちと、速さが落ちた事実に向き合いたくない気持ちがある。

ウ 自分の速さに自信があり、沙季に勝つ場面を見せようとしている。

エ 時計の使い方が分からないので、遊びに来たと言って借り直そうとしている。

B 二本の数字

標準 | 目安 25分 | 全8問 | 問題

本文は問題5～6ページ。選択問題は記号に○。句読点・かぎカッコも1字です。

問2 ③段落で真帆が「沙季の腕ではなく窓を見た」のはなぜだと考えられますか。最も適切なものを一つ選び、記号に○を付けなさい。

ア 窓にいる受付の人へ、時計を返す時刻を知らせようとした。

イ 水泳をやめて外へ出ると決め、出口を探そうとした。

ウ 沙季の泳ぐ速さと自分を比べることから、一時的に目をそらそうとした。

エ 沙季の腕の動きを、窓に映して正確に確かめようとした。

問3 ④段落の沙季の発言から確実に読み取れる範囲として、適切なのはどれですか。最も適切なものを一つ選び、記号に○を付けなさい。

ア 新しい教室の練習が厳しく、退会を決めている。

イ 前の教室へ戻ることを、真帆にすでに約束している。

ウ 決勝に残った記録に満足しておらず、泳ぐのを嫌がっている。

エ 新しい教室では練習後の過ごし方が違い、以前の教室を意識することがある。

問4 ④段落で、沙季の状況を十分知らないまま真帆が考えていた内容を、「移ったのだから」に続く言葉で、本文の④段落から、10字で抜き出さなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

 10

問5 ⑤段落で、沙季が二十五メートルでよいか確かめたことの意味として、適切なのはどれですか。最も適切なものを一つ選び、記号に○を付けなさい。

ア 以前の習慣をそのまま求めず、今の真帆が選ぶ泳ぎ方を確かめている。

イ 真帆が二十五メートルも泳げないと決め付け、試すことを止めている。

ウ 自分の練習を早く始めるため、真帆の泳ぐ距離を一方向的に短くしている。

エ 時計で五十メートルは計れないので、機械の都合に合わせている。

B 二本の数字

標準 | 目安 25分 | 全8問 | 問題

本文は問題5～6ページ。選択問題は記号に○。句読点・かぎカッコも1字です。

問6 真帆が⑤段落で自分の遅さへの不安を口にできたのは、沙季との会話を通して何が変わったためですか。④段落と結び付けて、50字以上80字以内で説明しなさい。

[illegible]

問7 ⑦段落で真帆が「速いほうだけにせず」二本の数字を残した行動には、どのような変化が表れていますか。①・②段落の状態と比べ、50字以上80字以内で説明しなさい。

[illegible]

問8 「まだ分からない」と答えながら「今度は私も計るから」と付け加えた真帆の気持ちを、二つの発言を矛盾させずに、50字以上80字以内で説明しなさい。

[illegible]

C 汽笛の手前

発展・応用 | 目安 30分 | 全8問

語りの限界と回想を、結末の意味につなげる

本文は本教材用に作成したオリジナル文章です。

① 朝六時のフェリー乗り場には、まだ売店のシャッターが下りていた。僕は録音機の赤い印を確かめ、風よけの柱の陰に立った。島で過ごす最後の朝だった。母の転勤で、本土へ引っ越す。昨日は親戚が集まり、何度も元気でねと言われた。僕も笑って答えたけれど、島を出ることが楽しみか寂しいかと聞かれると、どちらも人から借りた返事のようになった。

② 録音機は、町の映像講座で借りたものだった。僕は春から、港の朝の音を集めて短い作品を作っていた。講師は題名を付けるように言ったが、まだ決まっていない。始発電の汽笛は、家の窓からでも聞こえる。向こうの家で再生すれば、ここにいる気分になれると思った。だから今朝は、人の話し声の入らない場所で、汽笛だけをきれいに録りたかった。

③ 「またそれか」 従兄の陸が、自転車を押して来た。僕より二つ年上で、同じ道を一緒に登校したことがある。陸は録音機を見ると、目の前でわざと足音を立てた。「邪魔しないでよ」僕が言うと、陸は口を閉じ、少し離れた柵にもたれた。風が強くなって、マイクを覆う毛が片側になびいた。陸は手をポケットに入れたまま、こちらを見なかった。

④ 船の姿が見えたとき、録音機に小さな警告が出た。電池が切れかけていた。僕は慌ててポケットを探したが、予備はかばんの奥だ。かばんの口を開けるうちに、短い汽笛が鳴った。ああ、と声が出た。陸が振り向き、自転車のかごから細い袋を出した。「これ、同じだろ」陸の自転車用のライトは、僕の録音機と同じ電池を使っていた。袋には新品が二本入っていた。

C 汽笛の手前

発展・応用 | 目安 30分 | 全8問 | 本文つづき

段落番号は前のページから続きます。

⑤ 陸は近くの作業小屋の陰を指した。「あそこなら風がまし」僕が電池を替えて移動すると、陸もついてきた。船から係の人が手を振り、陸が手を上げた。「知ってる人？」と聞くと、陸は夏に港の清掃を手伝ったと答えた。僕が毎朝見ていたはずの港に、知らない陸の時間があつた。二度目の汽笛まで、僕らは小屋の壁に並んで立った。陸は袋の端を何度も折っていた。

⑥ 僕は、そろそろ録るよ、と言いかけてやめた。陸が「向こうの坂、どのくらいあるの」と聞いたからだ。「地図だと、あんまりない」「じゃ、楽だな」僕は、そうかな、と答えた。陸と上った坂は、途中で一度海が見えなくなる。陸はいつもそこで歩く速さを落とした。僕が追い付くと、遅い、と笑った。その話を始めかけたところで汽笛が鳴った。僕の声の終わりと陸の笑い声が、その長い音に重なった。

⑦ 船へ向かう前に、録った音を二人で聞いた。汽笛の手前で僕が「向こうでも」と言い、続きを言わずにいる。何を言うつもりだったか、聞き返されなかったことがありがたかった。「これ、失敗？」陸が尋ねた。僕は首を振った。向こうの部屋で再生しても、この朝に戻ることはできないだろう。でも、汽笛だけより、この言いかけた声のある録音を持っていきたかった。僕は題名の欄に日付を入れ、その後ろに「二人」と書いた。

選択問題は記号に○。記述は句読点・かぎカッコも1字です。

問1 ①段落の「どちらも人から借りた返事のようになった」の意味はどれですか。最も適切なものを一つ選び、記号に○を付けなさい。

ア 楽しみか寂しいかという決まった言葉だけでは、自分の実感をうまく言い表せない。

イ 島を出る本当の理由を隠すため、親戚の言葉をそのまま使っている。

ウ 転勤先をまだ知らないので、どちらの気持ちになるか判断できない。

エ 島に残りたいとはっきり思っているが、周囲に反対されて言えない。

C 汽笛の手前

発展・応用 | 目安 30分 | 全8問 | 問題

本文は問題9～10ページ。選択問題は記号に○。句読点・かぎカッコも1字です。

問2 ④段落の電池切れの出来事は、物語の展開の中でどんな役割を果たしていますか。最も適切なものを一つ選び、記号に○を付けなさい。

- ア 一人で録るつもりを改め、作品の題名を陸に決めてもらう契機になる。
- イ 僕が陸に助けられて録音場所を移し、陸と会話する時間が生まれる契機になる。
- ウ 陸の準備のよさと比べて落ち込み、会話を避けて録音の完成を急ぐ契機になる。
- エ 引っ越し後も代わりに同じ場所で録音するよう、陸に頼む契機になる。

問3 ③～⑤段落の陸について、本文だけでは断定できない内容はどれですか。最も適切なものを一つ選び、記号に○を付けなさい。

- ア 僕に邪魔しないでと言われた後、少し離れて立った。
- イ 僕に録音機と同じ種類の新品の電池を渡した。
- ウ 小屋で汽笛を待つ間、袋の端を繰り返し折った。
- エ 僕との別れが悲しくて泣かないように、袋の端を折った。

問4 ⑤段落で、港での陸の経験について「僕」が新たに気付いたことを表す連続した言葉を、本文の⑤段落から、12字で抜き出さなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

12

問5 ⑥段落に登校中の坂の記憶が挟まれている効果として、適切なのはどれですか。最も適切なものを一つ選び、記号に○を付けなさい。

- ア 陸が歩くのを苦手としていたので、港にも遅れて着いた理由が分かる。
- イ 転居先の道が正確に描かれ、二人の新しい登校路が分かる。
- ウ 何気ない坂の話の奥に、陸が待ってくれた二人の時間があると分かる。
- エ 坂が陰しい島の暮らしを嫌って、僕が引っ越しを決めたと分かる。

C 汽笛の手前

発展・応用 | 目安 30分 | 全8問 | 問題

本文は問題9～10ページ。選択問題は記号に○。句読点・かぎカッコも1字です。

問6 「僕」の録りたい音は、②段落から⑦段落までにどう変わりましたか。その理由も含め、60字以上90字以内で説明しなさい。

[illegible]

問7 ⑦段落の「続きを言わずにいる」「聞き返されなかったことがありがたかった」から分かる、二人の関係を、50字以上80字以内で説明しなさい。

[illegible]

問8 最後に録音の題名を日付と「二人」にしたことには、何が表れていますか。初めの録音の目的との違いを明確にし、60字以上90字以内で説明しなさい。

[illegible]

D 返したあとの話

入試形式テスト | 目安 30分 | 全8問・100点

展開・回想・情景の効果を総合して説明する

本文は本教材用に作成したオリジナル文章です。

① 市の天文台へ着いたとき、望遠鏡のある屋上は閉まっていた。天気予報より早く雲が出たらしい。中三の悠は受付の張り紙を見て、かばんの中の封筒を押さえた。封筒には、半年前に友人の圭から借りた星の写真が入っていた。圭が隣町へ引っ越して以来、二人で会うのは初めてだった。今夜の観望会を知らせる短いメッセージを送るまでに、悠は何日もかかった。

② 「やっぱり閉まってたか」遅れて来た圭は、張り紙を見ても驚かなかった。「途中から怪しかったもんな」悠は、天気を確認してから誘えばよかった、と言った。圭は、仕方ないよ、と答えた。二人は展示室の端のベンチに座った。悠は写真を返そうと思ったが、封筒を渡せば今夜の用事が終わってしまう気がして、かばんの留め具を閉じた。

③ 展示室では、昔この町で撮影された夜空の映像が流れていた。圭は画面を見ながら、今の学校では帰る方角が友達と反対だと話した。悠は、こっちにいればよかったのに、と言いかけた。圭の引っ越しは、圭が選んだことではない。「帰り道、長いの」そう尋ねると、圭は、距離は短い、と言った。そのあと二人とも黙った。画面の中でだけ、雲のない夜空がゆっくり動いていた。

④ 係の人が、屋上の再開は難しそうだと知らせに来た。圭は立ち上がり、壁際の展示をのぞいた。望遠鏡で撮った同じ星の写真が二枚並んでいる。片方は輪郭がはっきりし、もう片方はぼやけていた。「こっち、前に俺が撮ったやつみたい」圭がぼやけたほうを指した。悠はそこでやっと封筒を出した。「返すの、遅くなった」圭は中の写真を見て、まだ持ってたんだ、と笑った。

D 返したあとの話

入試形式テスト | 目安 30分 | 全8問・100点 | 本文つづき

段落番号は前のページから続きます。

⑤ 写真の裏には、撮影日と、圭が書いた「次はぶれない」の文字があった。二人が初めて望遠鏡にカメラを付けた夜の写真だ。圭が焦点を合わせ、悠がシャッターを押した瞬間、二人とも望遠鏡に触れてしまった。「俺だけの失敗みたいな字だな」圭が言った。「押したの、僕だよ」悠が答えると、圭は写真を二人の間に置いた。久しぶりに、同じものを見て笑った。

⑥ 出口へ向かう途中、圭が「駅、どっちだっけ」と聞いた。悠は反射的に右を指し、すぐに手を下ろした。前は二人とも左の坂を下りて帰った。その坂の途中に、圭の家があった。圭は何も言わず案内板を見ていた。悠は、駅まで行こうか、と言った。圭はいいの、と聞いた。悠は、まだバスまで時間があるから、と答えた。本当は一本早いバスにも間に合った。

⑦ 駅までの道で、悠は次の観察会と一緒に予約しようとした。圭は、その日は新しい学校の行事があると言った。悠の指が画面の上で止まった。「じゃあ、分かったら教えて」そう言って携帯をしまうと、圭は、そっちの予定も送って、と言った。悠は封筒を持つ圭の手を見た。写真を返したあとも、まだ話すことがあった。駅の時計の下で別れるまで、二人は、今度撮る星を一つに決めなかった。

選択問題は記号に○。記述は句読点・かぎカッコも1字です。

問1〔8点〕 ②段落で悠がかばんの留め具を閉じた理由として、適切なのはどれですか。最も適切なものを一つ選び、記号に○を付けなさい。

ア 写真が雨にぬれたので、圭に見せる前に乾かしたかった。

イ 写真を返すことが再会の唯一の目的のようになり、その場で別れるのを避けたかった。

ウ 圭が写真のことを忘れていたので、返す必要はないと考えた。

エ 観察会の受付が始まったので、先に予約を済ませたかった。

D 返したあとの話

入試形式テスト | 目安 30分 | 全8問・100点 | 問題

本文は問題13～14ページ。選択問題は記号に○。句読点・かぎカッコも1字です。

問2〔8点〕 ③段落で悠が「こっちにいればよかったのに」と言わず、別の質問をした理由として、適切なのはどれですか。最も適切なものを一つ選び、記号に○を付けなさい。

ア 圭は新しい町のほうを気に入っていると、確実に分かっていたから。

イ 圭の返事が短かったので、今の学校の友達についてはこれ以上触れないと決めたから。

ウ 圭が選べなかった引っ越しを責めるような言い方を避け、今の暮らしを聞こうとしたから。

エ 昔の町と新しい町の距離を比べれば、圭の寂しさをなくせると思ったから。

問3〔8点〕 ③段落の「画面の中でだけ、雲のない夜空がゆっくり動いていた」という描写の効果はどれですか。最も適切なものを一つ選び、記号に○を付けなさい。

ア 会話の途切れた二人と、滑らかに進む映像を対照させ、再会のぎこちなさを際立たせる。

イ 現実と映像の天候を対照させ、観察できないことへの二人の不満が深まったと示す。

ウ 二人が夜空への関心を完全に失い、退屈していることを断定する。

エ 天候の回復を先に示し、屋上で星を見られる結末を予告する。

問4〔8点〕 ⑤段落で、再会のぎこちなさが和らいだことを最も直接的に示す「久しぶりに、」の直後の言葉を、本文の⑤段落から、10字で抜き出しなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

 10

問5〔8点〕 ④・⑤段落の写真は、二人の関係にどんな働きをしていますか。最も適切なものを一つ選び、記号に○を付けなさい。

ア 誰が失敗したかを争う材料になり、昔の対立を再燃させる。

イ 圭の技術の上達を証明し、悠が一方向的に教わる関係に戻す。

ウ 再会の義務を終える道具になり、二人がすぐに別れる理由を作る。

エ 返すべき物であるだけでなく、一緒に過ごした時間を呼び戻すきっかけになる。

D 返したあとの話

入試形式テスト | 目安 30分 | 全8問・100点 | 問題

本文は問題13～14ページ。選択問題は記号に○。句読点・かぎカッコも1字です。

問6〔20点〕 ⑥段落で悠が右を指してすぐ手を下ろし、その後「駅まで行こうか」と言った心の動きを、50字以上80字以内で説明しなさい。

[illegible]

問7〔20点〕②段落の「今夜の用事が終わってしまう」と⑦段落の「まだ話すことがあった」を比べ、悠の圭との関係の捉え方の変化を、60字以上90字以内で説明しなさい。

[illegible]

問8〔20点〕最後に「今度撮る星を一つに決めなかった」とあるのは、二人が疎遠になることだけを示すとは言えません。⑦段落の会話を根拠に、その理由を、60字以上100字以内で説明しなさい。

[illegible]